

令和3年度「アウトリーチ（訪問支援）研修」 実地研修計画書

【1. 機関・団体概要】

機関・団体名	運営(法人)：特定非営利活動法人サポートセンターゆめさき 実施機関：子ども若者みらい相談プラザ sorae
機関・団体代表者	運営(法人)：特定非営利活動法人サポートセンターゆめさき 理事長 松本大進 実施機関：子ども若者みらい相談プラザ sorae 統括責任者 松本大進
所在地	(法人住所) 〒904-2174 沖縄県沖縄市高原6丁目7番40号
電話番号／FAX番号	運営(法人)：098-923-4123 / 098-923-4124 実施機関：098-943-5335 / 098-943-5475
HPアドレス	http://www.sorae.okinawa
研修実施場所	〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1 沖縄県総合福祉センター内 西棟3階
研修実施場所の最寄駅	モノレール：石嶺駅
団体概要 (設立趣旨等)	《実施機関：子ども若者みらい相談プラザ sorae》 「子ども・若者育成支援推進法」に基づき、沖縄県の教育、雇用、心理・医療、福祉の行政機関及び地域支援機関と連携し、若年無業、ひきこもり、不登校など、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者(概ね0歳～39歳)の様々の悩みに、心理、福祉、教育、キャリア形成等の専門的な知見を有するスタッフ(有資格者及び経験者等で構成)が対応するワンストップ相談窓口として、子供・若者の社会生活の自立に向けた支援を行う機関として設立した。
職員数	全職員数9名(常勤3名 / 非常勤6名)
機関・団体の アウトリーチの特徴等	ひきこもり及び不登校などで、ひきこもり状態などにある子ども・若者に対し、緊急性・適時性(アウトリーチで直接会える状態にあるか否か等)を勘案し、当事者の自宅をはじめカフェ等(当事者の希望する場所で柔軟に対応)でのアウトリーチを実施している。また、緊急性や適時性が見いだせないケースについては、保護者などを通じた間接的な支援を行うことで家族関係などの調整や当事者の動機づけを図り、アウトリーチ等の直接的な支援を促している。このように間接的な支援と、アウトリーチの直接的な支援の両輪のかみ合わせに重きを置いたアウトリーチが特徴である。
機関・団体に運営している 相談・支援機関名	運営法人にて下記の事業を実施している。 ・子ども若者みらい相談プラザ sorae ・地域若者サポートステーション琉球 ・地域若者サポートステーション沖縄

【2. 令和2年度中のアウトリーチの実績概要】

《子ども若者みらい相談プラザ sorae》

◇アウトリーチ件数 203件（R2年3月末現在）

◇対象年齢：0歳から概ね39歳までの県民

◇支援方法：

- ・初回の相談後、アセスメント会議において支援方針を検討（基本的にスタッフ全員）
 - ・支援方針に沿ってアウトリーチを実施（必要に応じて支援機関の職員を同行）
 - ・その他、家族相談、電話、メール相談、同行支援、教育、医療、福祉機関及び団体との連携
- *法人の各事業実績は別途となる。

【3. 過去2年間における子供・若者の支援に関する研修実績】

- 「ひきこもりの支援、入り口から出口まで sorae の実践から」 沖縄県ソーシャルワーカー協議会
令和2年2月22日
- 「不登校、ニート、ひきこもりの子どもや若者と「いかにしてつながるか」を考える」
令和2年度 7/15、10/29 令和3年度 1/21、2/10（沖縄県内5圏域でオンライン開催）
- 令和2年度「アウトリーチ上級者向け研修 - 疑似講義演習」 内閣府 令和2年9月18日

【4. 過去3年間における国又は地方公共団体の委託事業や自主事業等】

◇夢咲学園：学校法人山口精華学園 広域通信制・単位制高校：個別支援や資格取得、体験活動など充実の学習内容にて法人事業所と連携し、就学、就労に向けた支援及び卒業後のサポート。

◇放課後等児童デイサービス事業 ゆめさきクラブ：発達障がいの特徴をもつ児童生徒への学習、農業体験、パソコン指導など、個別・グループ活動支援の他、家族や地域支援。

◇沖縄市教育委託事業 フリースペースゆめさき：沖縄市在住中の中学生の学習支援

◇沖縄県教育庁県立学校教育課委託事業（就学支援員配置委託事業）：県立高校への教育相談員、就学支援員（心理、福祉の専門）の配置事業。

◇厚生労働省認定事業 地域若者サポートステーション沖縄・サポートステーション琉球：15歳～49歳までの若者に対する就労支援。

◇沖縄県子ども・若者総合センター事業 子ども若者みらい相談プラザ sorae：「沖縄県子ども・若者総合相談センター」として、若年無業、ひきこもり、不登校等の社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者からの相談に応じ、関係機関の紹介、その他必要な情報の提供及び助言を行う。

◇子ども・若者社会適応促進事業：困難を有する子ども・若者に対し、生活環境や対人関係の改善などを目的とした社会適応プログラム等を実施。

【5. 実地研修責任者・担当者】

	実地研修での役割 (実施責任者・担当者 等)	<ul style="list-style-type: none"> ・保有資格 (アウトリーチ関連) ・アウトリーチ経験年数
1	実地研修責任者	臨床心理士 子供若者の相談及び支援経験 15年 アウトリーチ歴 7年
2	担当者	臨床心理士 公認心理師 子供若者の相談及び支援経験 9年 アウトリーチ歴 5年
3	担当者	精神保健福祉士 子供若者の相談及び支援経験 14年 アウトリーチ歴 10年

【6. 研修生の受入条件】

受 入 条 件	
受入可能日数	7日 (活動日数)
受入可能日程 (9月21日～12月24日の間)	11月30日(火)～12月7日(火)
受入可能人数	2名
保有資格 (アウトリーチ関連) の要否、その他の受入条件	教育・医療・福祉・キャリア形成の分野に係る資格 (社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士、キャリアC等) を有する者。もしくは資格取得が見込まれている者。

【7. 実地研修内容】

実 地 研 修 内 容			
※下記の「初日」～「最終日」までの研修内容については、過去の実績に基づいた予定となります。			
実地研修全体の概要		沖縄県設置の子ども若者総合相談センターとして実施している総合相談やアウトリーチの対応を中心に、相談の受理(インテーク)、実際のアウトリーチ、見立て(アセスメント)、関係機関との連携、就労・自立支援など、当事者が社会に参加(就労や学校復帰、社会復帰等も含め)するまでの段階(プロセス)を見通して研修を行う。また、不安障がい、自閉症スペクトラム等を有する子ども・若者へのアウトリーチ対応についても理解を深める	
研修初日の 開始予定時刻	研修最終日の 終了予定時刻	10:00 開始 (9時50分に sorae 到着)	18:30 終了
2日目以降の 研修開始時間	2日目以降の 研修終了時間	アウトリーチの予約調整に応じて調整	アウトリーチの予約調整に応じて調整

初日の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション (sorae スタッフ紹介、研修生の自己紹介《職務内容や経歴等の概略について説明》)sorae 業務概要、法人業務概要、研修内容、留意点等について説明
アウトリーチ (訪問支援) を実施しない日の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・相談の受理、相談、他機関との連携など sorae の相談業務の流れに沿って各専門の領域で研修担当者及び sorae スタッフから説明を受ける。 ・sorae 休日の月曜日に於いては、不登校、ひきこもり等の居場所など、sorae の連携事業所の訪問。事業内容等の説明を受ける。(サポステ琉球、児童デイ、夢咲学園、サポステ沖縄、その他) ・サポートステーションや事業所等との連携、フォローアップの同行 ・所内会議、アセスメント会議への出席
アウトリーチ (訪問支援) 同行日の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・前日の振り返り ・アウトリーチ訪問に向けてのリサーチ ・アウトリーチの同行：状態像の共有、アウトリーチの実施と実施後の振り返り
最終日の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校・ひきこもり等の居場所についての連携事業所等を視察 ・研修7日間のふりかえり、フィードバック (研修担当者、sorae スタッフ)
実地研修での アウトリーチの回数 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・4回～6回
研修生の宿泊について	指定なし
休業日について	<p>日・月</p> <p>※日・月・祝日休業 (但し、上記のとおり月曜日は研修を実施する)</p>
備考欄 (服装等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上記スケジュール以外にも被支援者の状況に応じて訪問を行う場合がある。 2. 研修期間中も相談対応等を行っており、研修担当者が急なケース対応等を生じる場合もある。(研修担当者が7日間付きっきりとは限らない) 3. 上記のとおり、心理、福祉、教育、キャリア形成等の専門的な見地を有する有資格者及び経験者等の職員で構成されていることから、研修内容も一定の経験を有する者を想定して行う。